

平成 28 年度 自治基本条例推進事業

第 1 回 市民まちづくり集会

日田市総合計画策定に伴う意見交換会
テーマ「10年後の日田市をこんなまちにしたい！」

日 時 平成28年8月22日（月）18:30～21:00

場 所 市役所7階 大会議室

日 程 18:30～18:35 開 会

18:35～19:00 コーディネーターの紹介
第6次総合計画とは 他
意見交換会の進め方
自己紹介

19:00～20:40 意見交換会
・ 1 回目の意見交換 （25 分）
＜テーブル移動＞
・ 自己紹介＋2 回目の意見交換 （30 分）
＜テーブル移動＞
・ 3 回目の意見交換＋まとめシート作成 （25 分）

《テーマ》10年後の日田市をこんなまちにしたい！

◆今回の意見交換会は、7つのテーブルに分かれて、25分ごとに
一部席替えを行いながら、議論を深めていきます。
最終的には、班ごとに1枚のシートに未来像をまとめてもらいます。

20:30～20:40 休 憩

20:40～21:00 発表・まとめ
・ 各班貼り出し・ふせん貼り（10分）
・ 篠藤先生の講評 （10分）

21:00 閉 会
（※進行の状況によって時間が延びる場合があります。）



平成28年度 自治基本条例推進事業 第1回 市民まちづくり集会

★始まる前に・・・



受付付近に
飲み物とお菓子を用意しています。
ご自由に席にお持ちください

受付でお渡しした名札に
ペンで名前を書いてください
(あだ名等でも大丈夫です)



先生の著書



★コーディネーターの紹介



篠藤 明德 (しのとう あきのり) 氏
別府大学文学部教授
奥さんとドイツをこよなく愛する

★第6次総合計画って？

日田市の10年後、あなたならどう想像しますか？
「こんなまちになってほしいなあ」「こんなのがあったらいいよね」
そんな未来をみんなで話したら、どんな日田市ができあがるでしょうか

総合計画とは、これからの日田市がどんなまちを目指して、どのようなまちづくりを進めていくのか、その方向を定めたものです。

これまで第1次から第5次までの総合計画を順に日田市のまちづくりは進められてきました

日田市ってこれまでどんなまちを目指してたの？
今、どんな状況なの？



裏面を見てみよう！



★ワークショップ・・・の前にアイスブレイク

班の人に自己紹介をしましょう

■名前 ■住んでる地域 ■日田市の好きなところ などなど



テーマ

ワークショップ

「10年後の日田市をこんなまちにしたい！」

①テーマについて自分の考えを話してみましょう
そのためには今、何が課題でどういった取り組みが必要ですか

②25分後席替えをします
なるべく班員がバラバラになるように
席を移動してください
ただし、班員の一人はその席に必ず残るようにしてください

③新しい席で、残っている一人の方に
その前の25分間でどのような意見
が出たかを聞きます

④その内容をふまえて、もう一度同じ
テーマで25分間、話をしてください

⑤一番最初の席に戻り、班員で出てきた
情報を共有してください

⑥班ごとにテーマをまとめてください。



10年後の日田市はこんなまち！

キャッチフレーズ ○○○○を△△△△する都市、日田市

<キーワードは？>

<そのための取り組みや意識>

<どうして？>
課題や現状

■作成メンバー■ (↓名札を貼る)

★本日のルール

- 思いついたら遠慮せず本音でしゃべる
- 否定しないでよく聞く

うんうん
それでそれで？



そうだ！
あの○○につい
ては～だと思っ
んだ

- ラクガキを楽しむ
机の上の模造紙はメモ帳がわりです
思いついたこと・印象に残ったこと
忘れる前に書いて残しましょう

文字でも絵
でもなんでもOKです



第5次総合計画を振り返る

キャッチフレーズ

「人と自然が共存し、やすらぎ・活気・笑顔に
満ちた交流都市」

＜まちづくりの大綱＞

- 環境にやさしいまちづくり
- 便利で快適なまちづくり
- 個性を生かした産業振興によるまちづくり
- 健やかに安心して暮らせるまちづくり
- 心豊かで輝く人の育つまちづくり
- 市民協働によるまちづくり



「日田市まち・ひと・しごと総合戦略」について

日田市の人口は年々減少傾向にあり、H22年の国勢調査で70,940人いた人口はH27年の国勢調査の速報値では66,526人となっています。

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計によると今後も人口減少は進むと予測されています。

このままでは、地域経済の衰退や地域コミュニティの崩壊などの問題がより深刻化し、市民が安心して暮らせる地域社会の維持が困難になることが懸念されます。

また、労働人口の減少や地域経済の衰退は、日田市の自主財源の創出に大きく影響するため、更なる財政危機に陥る可能性が高くなります。

急激な人口減少に歯止めをかけるため、昨年度「日田市まち・ひと・しごと総合戦略」を策定し、4つの基本目標を立てました。

＜基本目標＞

- 日田市における安定した雇用を創出する
- 日田市への新しい人の流れをつくる
- 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 人が共に支え合い、安全・安心で快適に暮らせる地域を創る

目指してた日田市はこれ！

日田市の財政状況を知ろう

過去3年間の平均

約412億円

約399億円

どんなことに
お金を使っているの？



＜入ってくるお金＞

国・県等からの仕送り

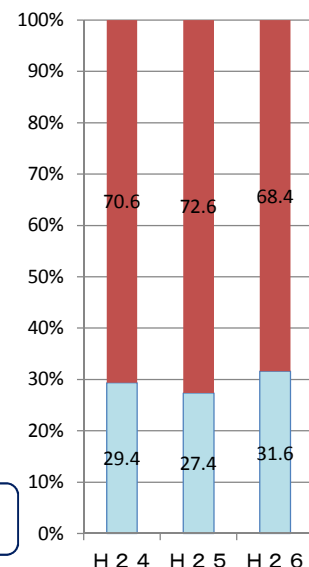
■依存財源



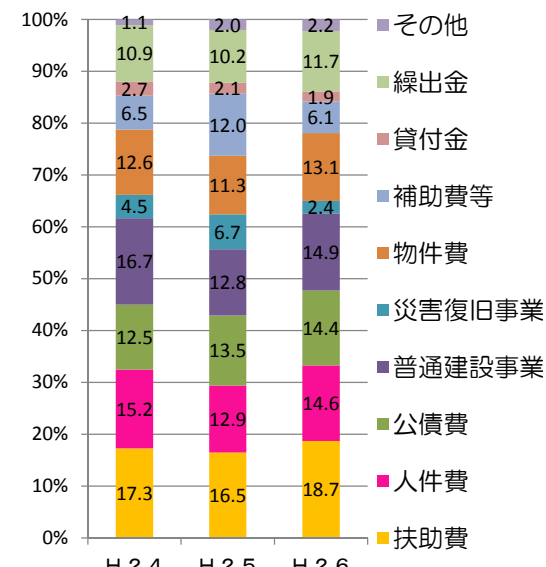
■自主財源



自分たちで
稼いだお金



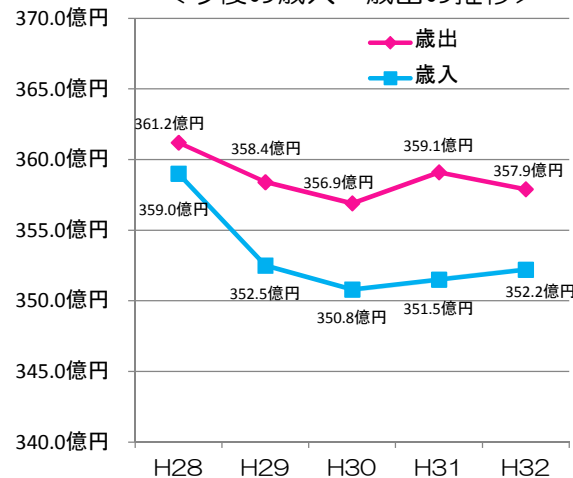
＜使い道＞



自主財源って3割
しかないの？！



＜今後の歳入・歳出の推移＞



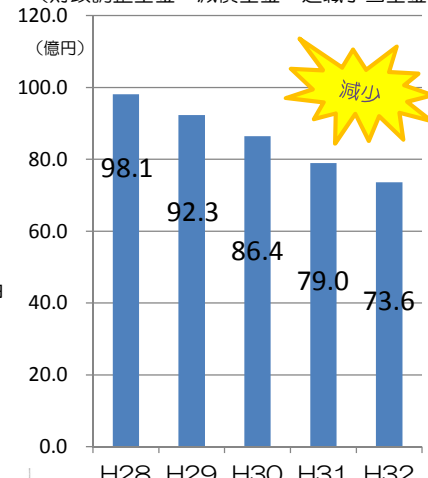
地方交付税減による歳入の減少や
生活保護費や建設費用(維持・補修)の増加で
今後は歳出の方が多くなるんだ



基金(貯金)がある
から大丈夫！

＜3基金の推移＞

(財政調整基金・減債基金・退職手当基金)



・・・あれ
いつの間にか
なくなっている

